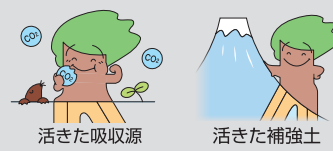


長野県(標高1,800mの強酸性土壌)



3ヵ月後(アルプラス工法仕様)

三重県 1



13年後



1年5ヵ月後

三重県 2



17年後



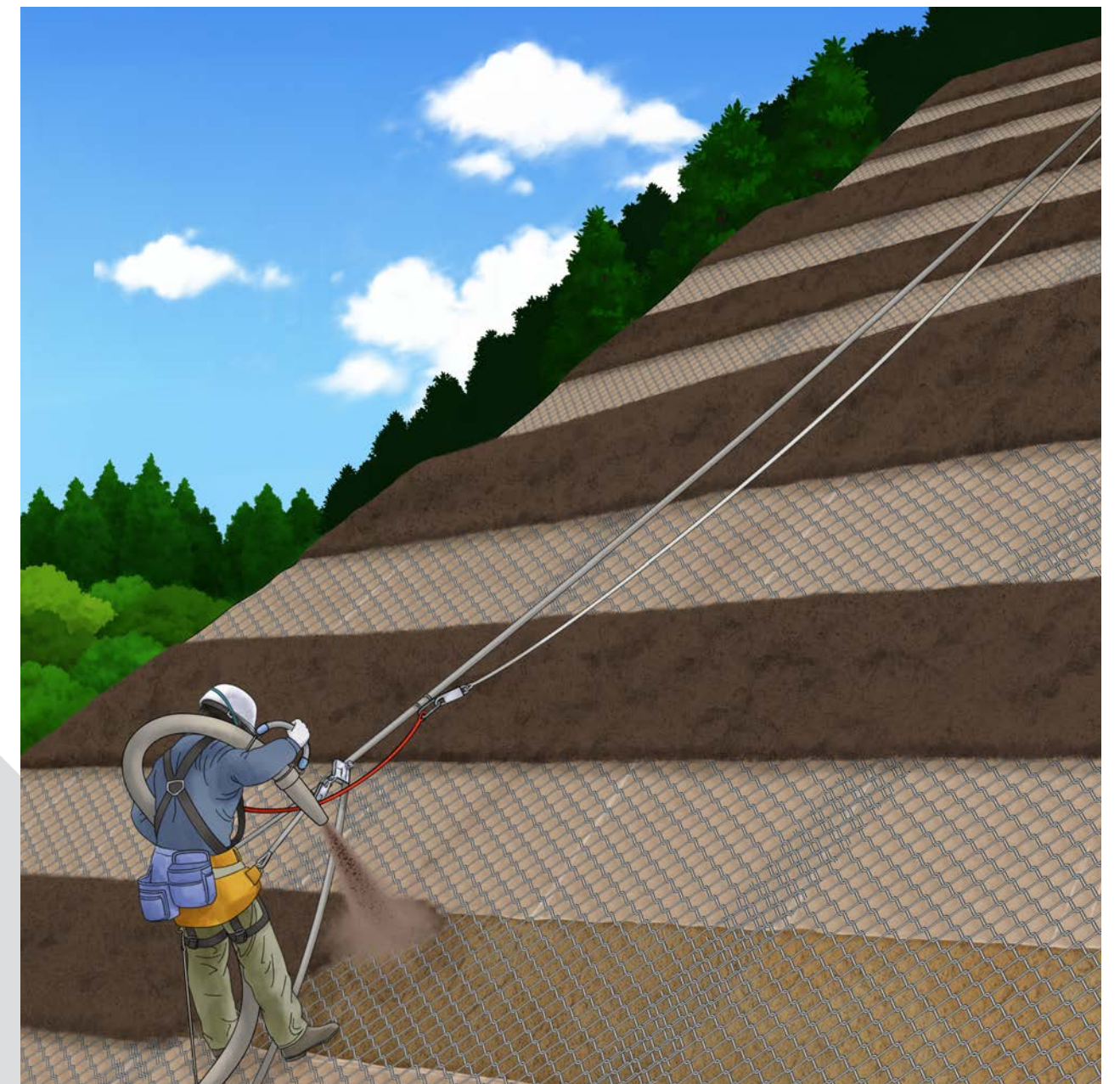
1年1ヵ月後(赤枠の部分がエコストライプ工法の標準仕様)



12年後

NETIS QS-150044-VR

非面的吹付緑化工・山腹緑化工 エコストライプ工法[®] PAT



東興ジオテック
TakaMatsu Group



本社/〒104-0061 東京都中央区銀座 7-12-7
TEL.03-3456-8761

<https://www.toko-geo.co.jp/>

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



東興ジオテック
TakaMatsu Group

エコストライブ工法は、播種工と自然侵入促進工を組み合わせた
生物多様性に配慮した緑化工法です。

特長

◆ 防災と自然再生の両立

計画的に植物群落を形成して斜面防災を図ると同時に、周辺植物の早期自然侵入を促して自然回復を早めます。

◆ 工期短縮

生育基盤を非面的に吹付けるので、工期を植生基材吹付工の70%～80%程度に短縮します。

◆ コストダウン

生育基盤を帯状に吹付けるので、施工コストを植生基材吹付工の80%～90%に短縮します。

◆ 低炭素型社会に貢献

生育基盤を帯状に吹付けるので、緑化工事で発生するCO₂排出量を植生基材吹付工の50%～60%に削減します。

◆ 幅広い緑化の要求に対応

緑化領域は、国内産在来種(地域性系統)を用いた自然回復緑化から、外来草本類による急速緑化まで、幅広い緑化目標の要求に応えます。

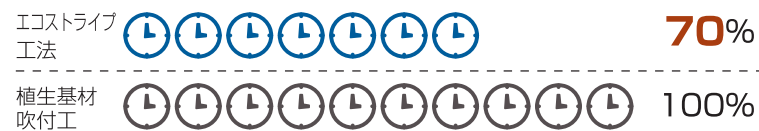
◆ 山腹緑化に有効

山腹緑化(治山工事・砂防工事)では古くから筋工などの非面的緑化工法が採用されており、早期自然回復に有効です。

エコストライブ工法の特長の相対比較

(植生基材吹付工を100とした場合)

工期短縮



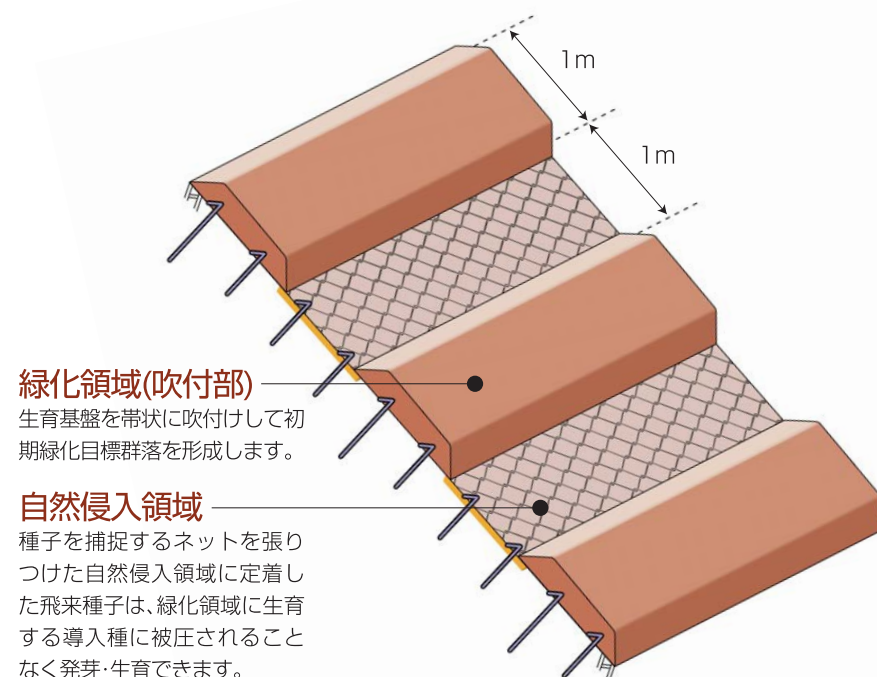
コストダウン



CO₂排出量



施工概略図



施工前



施工直後

緑化のバリエーション

エコストライブ工法は、緑化領域に従来から多用されている外来草本類やマメ科低木類を導入する緑化(急速緑化)から国内産在来種(木本類・草本類)を導入する緑化(自然回復緑化)まで、幅広いバリエーションがあります。



■ マメ科低木類主体の緑化事例



■ 外来草本類主体の緑化事例

■ 国内産在来種のための緑化事例

エコストライブ工法は、治山工事や砂防工事の山腹緑化工法として有効です。



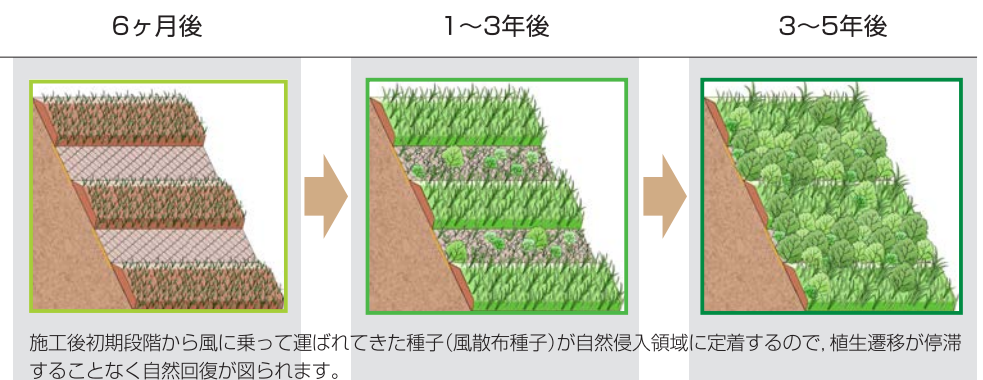
治山工事



砂防工事

植生の変化

◆ エコストライブ工法で緑化領域に草本植物群落を形成した場合



◆ エコストライブ工法で緑化領域に木本植物群落を形成した場合

